

「人口からみた社会経済の理解の新次元、新たな歴史像、地域像、民衆像の提案」に関する研究報告の募集

2020年も押し詰まって参りましたが、会員の先生方には、益々、ご清栄のことと存じます。平素より日本人口学会・研究企画委員会の活動に御理解、御協力いただき、まことにありがとうございます。今期(2020-2021年度)についても、引き続き御高配のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年は、国勢調査100周年、国勢調査人口減少10周年、さらには日本で歴史人口学が誕生してほぼ50年にあたります。これを機に、より広い視点と方法論から歴史人口学の成果と課題について展望してはいかがでしょうか。

研究企画委員会では、「歴史人口学の課題と展望」というテーマのもとに研究企画を立案して、実施準備を始めました。2001年から2020年における歴史人口学の展開について展望する報告書を今期末までに作成する計画です。報告書では、①歴史人口学の新たな展開と成果、②人口学全般への貢献(新しい方法論や考え方など)、新しい研究方法の歴史人口への適用、③人口からみた社会経済の理解の新次元、新たな歴史像・民衆像・地域像の提案、④今後の展開への期待・課題の4点について展望したいと存じます。

報告書作成にむけて、麗澤大学・歴史人口学セミナーで2021年4月からオンライン準備会を開催します。これを踏まえて、2021年度日本人口学会大会で企画セッションを設け、議論を深めたいと存じます。つきましては、歴史人口学の最前線に関わるつぎのトピックに関して、歴史人口学セミナーにおける報告者を募集いたします。御報告は、A)2000-2020年の研究動向を踏まえて、獲得された知見、資料やデータを整理しつつ、新しい事例、展望を加える、B)トピックに関する先行研究と最新成果のいずれのスタイルも歓迎します。日本人口学会会員・非会員を問わず御応募ください。御報告は日本語、または英語でお願い申し上げます。

「人口からみた社会経済の理解の新次元、新たな歴史像、地域像、民衆像の提案」に関するトピック

- ・マイクロストーリー:母乳、捨て子、身体史との接点
- ・出生制限(堕胎、間引きなど)の新たな理解
- ・結婚・離婚・再婚
- ・世帯構造・世帯継承
- ・養子慣行
- ・農民、武士、町人、漁民を含む身分階層と人口・家族
- ・人口移動からみた地域変容
- ・都市蟻地獄効果をめぐる都市村落関係
- ・感染症・疾病・エンデミック・エピソード・パンデミック
- ・健康状態・身体
- ・死産・流産
- ・都市人口の超長期変動
- ・転換期へのアプローチ
- ・国勢調査以前(人口転換期)の地域人口と人口移動
- ・近現代の人口政策
- ・人口・家族からみた西欧社会
- ・上記以外のトピック

御報告を希望される方は、研究企画委員長・川口洋宛にメールで御申し込みください。多数のご応募をお待ちしております。研究企画委員会で応募内容を検討させていただき、歴史人口学セミナーのプログラムを詰めたいと存じます。

1. 応募期限:2021年2月28日(日)まで。
2. 応募先:研究企画委員会・委員長 川口 洋(帝塚山大学)、kawag*tezukayama-u.ac.jp (*を@に換えてください)
3. 応募方法:2の応募先に、①から⑤をメールでお知らせください。

- ①報告者氏名
- ②御所属・連絡先メールアドレス・電話番号・住所
- ③日本人口学会会員・非会員の別
- ④御報告タイトル
- ⑤御報告の概要200字程度

以上。